



和歌色紙「かくはかり云々」 家光筆 1幅 紙本墨書 縦15.8 横16.8cm

徳川將軍は武芸の修業はもとより學問にも勤しみ、儒學の他に古典文學を學び和歌や連歌に通じたものが多かった。家光もその一人で、遺墨として自詠にも増して古歌が多く、その筆蹟は祖父家康に倣って定家流に傾倒したかの如く偏癖の多い書風をみせる。この和歌色紙は、古筆了仲の極書もあつて家光筆とされるもので、『拾遺集』卷8・雜上の藤原高光の歌を筆にしたものである。

かくはかりへかたくみゆるよの中に

うらやましくもすめる月かな

目 次

博物館のあゆみ

昭和51年度.....	2	昭和55年度.....	17
昭和52年度.....	6	昭和56年度.....	21
昭和53年度.....	9	昭和57年度.....	26
昭和54年度.....	13	昭和58年度.....	30
博物館の名品.....	4・16・20・25		

博物館のあゆみ

昭和51年度

館内業務

1. 特別展

○徳川歴代将軍の秘宝展

会期＝昭和51年4月1日～6月30日

徳川将軍の日常品を中心とした展示。

○徳川将軍家の武器武具展

会期＝昭和52年1月1日～3月31日

徳川歴代将軍の甲冑と刀剣の名品を展示。

2. 刀剣類定期手入れ

昭和51年7月28日及び11月29日、掛川市の刀剣研磨師池田猪太郎氏の手により行われた。

3. 刀剣類の研磨

昭和51年5月10日、池田猪太郎氏に依頼し太刀 銘 肥前国河内守正広を、11月29日に太刀 銘 来国秀、太刀 銘 (葵紋) 藤原是一を研磨した。

4. 資料の補修

昭和51年10月5日、鎧司牧田三郎氏に依頼した金扇馬標(伝徳川家康所用)が修復された。

5. 甲冑の調査

昭和51年8月23日～27日、國學院大學教授鈴木敬三氏の御指導で、当館所蔵の甲冑の中で写形歯染具足の調査を行った。

6. 資料の撮影

昭和52年3月28日～30日、当館所蔵の甲冑の写真撮影を榊大塚巧藝社写真部に依頼し行った。

7. 文化財入門講座

○第11回文化財入門講座

期日＝昭和51年8月8日

内容「徳川家康入門」

講師 静岡市文化財専門委員 飯塚伝太郎氏

当館学芸主任 小林 明

8. 館報の発行

昭和52年3月18日、館報第7号(昭和50年度報告)を発行した。

9. 友の会活動

○昭和51年5月16日、映画会に参加し「法隆寺」「飛鳥美術」「天平美術」を鑑賞。

○6月20日、スライド「日本の美術(飛鳥・白鳳時代)」を鑑賞。

○7月25日、スライド「日本の美術(奈良時代)」を鑑賞。

○8月8日、第11回文化財入門講座へ参加。

○11月28日、鎌倉史蹟巡り((財)駿府博物館共催)へ参加。

○昭和52年1月5日、映画会に参加し「絵巻」「雅楽」「美しき国土」を鑑賞。

○3月6日、映画会に参加し「桂離宮」「博物館」「イカロスの夢」を鑑賞後、久能山下でいちご狩りを行った。

館 外 業 務

1. 資料の出品

○「駿府とその周辺に残る徳川家康遺墨展」

会期・昭和51年4月1日～5月5日

会場・(財)駿府博物館

徳川家康・秀忠・家光の書画52点を出品。

○「世界の鉄砲展」

会期・昭和51年4月28日～5月3日

会場・山形 大沼百貨店

火縄銃(家康所用)と試し胴具足(家光所用)を出品。

○「伊達政宗展」

会期・昭和51年9月1日～10月15日

会場・仙台市博物館

東照大権現像(天海賛)、写形歯染具足を出品。

○特別展「日本の武器武具」

会期・昭和51年10月5日～11月23日

会場・東京国立博物館

国宝太刀 銘 真恒、重文太刀 無銘 光世作(附蒔絵刀箱)、重文歯染具足、火縄銃を出品。

○「徳川歴代将軍宝物展」

会期・昭和51年10月9日～11月3日

会場・長崎県立美術館

重文金陀美具足・短刀 無銘 貞宗作・脇指 無銘 行光作等77件を出品。

○「東洋のガラス工芸名品展」

会期・昭和51年10月20日～11月28日

会場・大和文華館

薬壺3個(附薬簞笥)を出品。

○「松平八代と徳川家康展」

会期・昭和51年11月7日～21日

会場・岡崎城天守閣

東照大権現像、蒔絵文庫等7件を出品。

○「鉄の芸術日本の名刀展」

会期・昭和52年1月1日～2月6日

会場・熱田神宮宝物館

国宝太刀 銘 真恒1口を出品。

2. 静岡県博物館協会臨時役員会

期日・昭和51年4月24日

会場・(財)駿府博物館

臨時役員会が開催され、松浦館長、小林学芸主任が出席。席上、松浦館長が会長に再任された。

3. 静岡県博物館協会総会
期日・昭和51年9月3日
会場・(財)駿府博物館
昭和51年度総会が開催され、松浦館長以下職員全員が出席。
4. 東海地区博物館連絡協議会総会
期日・昭和51年6月8日～9日
会場・岐阜県博物館
昭和51年度総会が開催され、松浦館長、小林学芸主任が出席。
5. 全国博物館大会
期日・昭和51年10月18日～20日
会場・高山市飛騨体育館
第24回大会が開催され、松浦館長、清水学芸員が出席。
6. 静岡県文化財保存協会総会
期日・昭和51年6月3日
会場・掛川城
昭和51年度総会が開催され、清水学芸員が出席。
7. 学芸職員研究集会
 - (a)期日・昭和51年7月6日
会場・(財)佐野美術館
 - (b)期日・昭和51年9月17日
会場・沼津市歴史民俗資料館
 - (c)期日・昭和51年12月2日
会場・浜松市美術館
 - (d)期日・昭和52年2月8日
会場・東海大学人体科学博物館
静岡県博物館協会の主催で開催され、(a)～(d)に小林学芸主任が、(a)～(c)に清水学芸員が出席。

博物館の名品 1 東照大権現画像 天海僧正賛写

1 幅 紙本著色 縦95.2 横44.3cm

東帯姿で神殿風の建物におさまる形式は、豊臣秀吉像から始まり、この家康像もそれに従っている。尊崇の対象として描かれた神像ではあるが、像主の晩年の容貌をよく伝えており、天海僧正の賛は写しとはいえ、江戸時代もあり下らぬ作品であろう。

天海僧正賛

「東照大権現、我減度後、於末法中、現大明神、広度衆生、山門三院執行探題、大僧正天海（花押）」



庶務報告

1. 昭和51年度入館者状況（但し、有料者のみ）

区分 月	大 人	小 人	団 体	計
4 月	7,716	1,338	874	9,928
5 月	8,096	1,105	1,057	10,258
6 月	3,911	178	255	4,344
7 月	4,268	483	230	4,981
8 月	9,081	3,119	384	12,584
9 月	4,981	323	396	5,700
10月	5,551	450	1,196	7,197
11月	5,067	360	524	5,951
12月	2,153	235	91	2,479
1 月	7,174	1,501	73	8,748
2 月	7,088	570	586	8,244
3 月	9,125	1,720	448	11,293
計	74,211	11,382	6,114	91,707

2. そ の 他

○4月1日付で清水実（國學院大學卒）を学芸員として採用。

○福島大学講師栗原澄子氏が当館所蔵の染織品の調査を下記の期日に行った。

4月8日～10日，5月27日～29日，8月17日～19日，12月3日～4日，3月2日～4日。

○5月22日，岩波映画社が時計（家康所用）を撮影。

○6月10日，NHK静岡が時計を取材し撮影。

○7月20日～24日，小林学芸主任が指定文化財展示取扱い講習会へ参加。

○8月17日，國學院大學博物館学講座受講生50名が博物館見学に来館。

○8月26日，保存室の除湿機を修理。

○1月9日，静岡県教育委員会の依頼で県の蔵刀を預る。

○1月25日，清水学芸員が博物館職員研修会へ参加。

○2月14日，秩父宮妃殿下，高松宮同妃両殿下が御来館。

○2月23日，日本美術刀剣保存協会深江泰正氏，佐野美術館渡辺妙子氏が脇指（重国作）を調査。

○本年度に下記の人々が来館した。

関戸実氏（工学博士・4月8日），徳川義宣氏（徳川黎明会専務理事，5月13日），加島進氏（東京国立博物館刀剣室長，5月14日），石塚弘氏（高松宮家，5月15日），新行紀一氏（愛知教育大学助教授，5月21日），野田克己氏（岡崎市教育委員会，5月21日），佐藤憲一氏（仙台市博物館学芸員，5月31日），下川達也氏（長崎県立美術博物館学芸員，6月30日），山岡博氏（調布市郷土博物館，10月10日），松平永芳氏（福井市立郷土歴史博物館前館長，10月22日），柴田豊久氏（日光東照宮，3月5日）。

昭和52年度

館内業務

1. 特別展

○徳川家康展

会期＝昭和52年4月1日～6月30日

徳川家康の甲冑・刀剣・書画・調度品を展示。

○徳川家の漆工芸展

会期＝昭和53年1月1日～3月31日

徳川将軍の遺品の中より漆工芸の優品を展示。

2. 刀剣類定期手入れ

昭和52年11月8日、掛川市の刀剣研磨師池田猪太郎氏の手により行われた。

3. 甲冑・染織品の調査

昭和52年8月8日～12日、國學院大學教授鈴木敬三氏の御指導で当館所蔵の甲冑と染織品の調査を行った。

4. 資料の撮影

昭和52年10月24日より28日まで5日間、当館所蔵家康遺品の写真撮影を榊大塚巧藝社写真部に依頼し行った。

5. 文化財入門講座

○第12回文化財入門講座

期日＝昭和52年11月3日

内容「源氏物語絵巻と近世絵画の鑑賞」

講師 徳川美術館普及課長 木下稔氏

6. 講演会

○第1回静岡の歴史と人物講演会

期日＝昭和52年9月15日

演題「大御所家康と忠長卿」

講師 徳川美術館館長 徳川義宣氏

7. 友の会活動

○昭和52年6月12日、岡崎史蹟巡りへ参加。

○9月15日、第1回静岡の歴史と人物講演会聴講。

○11月3日、第12回文化財入門講座へ参加。

○11月23日、映画会に参加し「岡倉天心の心」「蒔絵・松田権六のわざ」「街道と関所」を鑑賞。

館外業務

1. 資料の出品

○「生きながら祠られた松岡万展」

会期・昭和52年7月31日～8月21日

会場・(財)駿府博物館

徳川家達肖像写真、関口隆吉肖像画を出品。

- 「第3回目で見る文化財展」
会期・昭和53年1月26日～31日
会場・松坂屋静岡店
太刀（恒次作）・刀（三池写）を出品。
2. 静岡県博物館協会総会
期日・昭和52年5月6日
会場・（財）駿府博物館
昭和52年度総会が開催され、松浦館長以下職員全員が出席。
 3. 東海地区博物館連絡協議会総会
期日・昭和52年6月8日～10日
会場・熱川バナナ・ワニ園
昭和52年度総会が静岡県の当番で開催され、松浦館長以下職員全員が出席。
 4. 日本博物館協会総会
期日・昭和52年6月20日
会場・東京国立科学博物館
昭和52年度総会が開催され、松浦館長、小林学芸主任が出席。
 5. 全国博物館大会
期日・昭和52年9月22日～24日
会場・救世熱海美術館
第25回大会が開催され、松浦館長が出席。
 6. 静岡県文化財保存協会総会
期日・昭和52年6月22日
会場・静岡市立登呂博物館
昭和52年度総会が開催され、小林学芸主任が出席。
 7. 研究交換会
期日・昭和53年3月10日～11日
会場・救世熱海美術館
静岡県・神奈川県両博物館協会共催で開催され、松浦館長、小林学芸主任、清水学芸員が出席。
 8. 学芸職員研究集会
 - (a)期日・昭和52年4月8日
会場・三島市郷土館
 - (b)期日・昭和52年6月30日
会場・ベルナール・ビュフェ美術館
 - (c)期日・昭和52年8月30日
会場・（財）駿府博物館
 - (d)期日・昭和52年10月13日
会場・（財）富士美術館
 - (e)期日・昭和52年12月6日
会場・静岡市立登呂博物館
静岡県博物館協会の主催で開催され、(a)～(e)に小林学芸主任が、(a)～(c)及び(e)に清水学芸員が出席。

庶務報告

1. 昭和52年度入館者状況 (但し、有料者のみ)

区分 月	大人	小人	団体	計
4月	7,323	1,507	317	9,147
5月	6,681	791	452	7,924
6月	4,458	245	259	4,962
7月	4,715	575	326	5,616
8月	9,530	3,690	213	13,433
9月	5,403	362	426	6,191
10月	8,377	598	848	9,823
11月	7,459	540	783	8,782
12月	3,097	313	284	3,694
1月	8,052	1,650	60	9,762
2月	6,065	594	151	6,810
3月	7,220	709	386	8,315
計	78,380	11,574	4,505	94,459

2. その他

○4月1日より入館料の団体料金を下記のごとく改正。

大人30名以上 160円・100名以上 150円

高校生30名以上 140円・100名以上 130円

小人30名以上 80円・100名以上 70円

○7月20日、神社参拝との共通券を発行 (大人 350円、小人 170円)

○7月26日～30日、小林学芸主任が指定文化財取扱い講習会へ参加。

○8月3日～5日、清水学芸員が博物館新職員研修会へ参加。

○8月23日、國學院大學博物館学受講生37名が博物館見学のため来館。

○9月5日～9日、文化庁美術工芸課が当館の家康遺品を調査。

○11月12日、小林学芸主任が体文協主催の歴史民俗文化財研究者座談会へ出席。

○11月14日～15日及び3月13日～14日、福島大学講師栗原澄子氏が当館の染織品を調査。

○埼玉県立文書館の原由美子氏他1名が朱印状調査。

○フジテレビのリビング2放映のため甲冑を撮影。

○本年度に下記の人々が来館した。

白水正氏 (岐阜市教育委員会、9月16日)、山上八郎氏 (国史研究所長、11月8日)、佐藤寛次氏 (日本美術刀剣保存協会静岡支部長、12月13日)、竹中照洗氏 (岐阜県博物館学芸部長、2月21日)、小池允博氏 (日光東照宮宝物館、2月23日)。

昭和53年度

館内業務

1. 特別展

○久能山の神道美術

会期＝昭和54年1月1日～3月31日

東照大権現像、薬師如来像、重文曼荼羅等を展示。

2. 刀剣類定期手入れ

昭和53年7月17日、掛川市の刀剣研磨師池田猪太郎氏の手により行われた。

3. 甲冑の調査

昭和53年8月26日～30日、國學院大學教授鈴木敬三氏の御指導で当館所蔵の甲冑の調査を行った。

4. 資料の撮影

昭和53年8月30日～9月2日、当館所蔵の甲冑、染織、神宝類の写真撮影を榊大塚巧藝社写真部に依頼し行った。

5. 文化財入門講座

○第13回文化財入門講座

期日＝昭和53年8月6日

内容「城郭の歴史と見方」

講師 (財)駿府博物館学芸員 安本収氏

6. 講演会

○第2回静岡の歴史と人物講演会

期日＝昭和53年6月24日

演題「駿河今川氏の栄枯盛衰」

講師 静岡大学助教授 小和田哲男氏

7. 友の会活動

○昭和53年6月24日、第2回静岡の歴史と人物講演会聴講。

○8月6日、第13回文化財入門講座へ参加。

館外業務

1. 資料の出品

○特別展「徳川家康公と四天王」

会期・昭和53年4月15日～6月15日

会場・日光東照宮宝物館

重文金陀美具足、同歯朶具足、同打刀拵、県文火繩銃、同薬箆等を出品。

○特別展「濃飛の甲冑」

会期・昭和53年4月28日～5月28日

会場・岐阜県博物館

重文白檀塗具足を出品。

○「徳川三百年名宝と武具展」

会期・昭和53年7月25日～11月12日

会場・日光東照宮宝物館

甲冑4領、火繩銃・鞍・一行書「雪月花」「落合左平次背旗図」を出品。

○特別展「戦国・桃山名将のよろい」

会期・昭和53年10月7日～11月5日

会場・奈良県立美術館

重文歯染具足を出品。

○「第4回 目で見る文化財展」

会期・昭和54年1月24日～30日

会場・松坂屋静岡店

徳川家康遺品10点と刀剣2口を出品。

○徳川家康遺品の重文指定審議

期間・昭和54年2月9日～7月31日

会場・東京国立博物館

徳川家康遺品（文書・染織・調度）を多数出品。

2. 静岡県博物館協会総会

期日・昭和53年5月24日

会場・（財）駿府博物館

昭和53年度総会が開催され、松浦館長、小林学芸主任、清水学芸員が出席。席上、松浦館長が会長に再任された。

3. 東海地区博物館連絡協議会総会

期日・昭和53年6月14日

会場・名古屋市博物館

昭和53年度総会が開催され、小林学芸主任が出席。

4. 私立館長会議

期日・昭和53年6月9日

会場・東京国立科学博物館

松浦館長が出席。

5. 全国博物館大会

期日・昭和53年11月20日～22日

会場・東京

社団法人日本博物館協会創立50周年記念・第26回大会が開催され、松浦館長、小林学芸主任が出席。席上、松浦館長が協会に対する功績を認められ表彰された。

6. 静岡県文化財保存協会総会

期日・昭和53年6月16日

会場・静岡浅間神社

昭和53年度総会が開催され、清水学芸員が出席。

7. 社会教育振興静岡県大会

期日・昭和53年11月11日

会場・駿府会館

小林学芸主任が出席。

8. 文化講演会

○第1回文化講演会

期日・昭和53年9月24日

会場・(財)佐野美術館

演題と講師①「植物園の生きた文化財」熱川バナナワニ園研究主任 中村武久氏

②「江戸時代の旅」井出コレクション代表 井出孝氏

○第2回文化講演会

期日・昭和54年3月11日

会場・静岡新聞社別館3階ホール

演題「わが国の文化遺産」

講師 國學院大學教授 樋口清之氏

静岡県博物館協会主催で開催され、松浦館長、小林学芸主任、清水学芸員が出席。

9. 学芸職員研究集会

(a)期日・昭和53年7月4日

会場・(財)池田20世紀美術館

(b)期日・昭和53年10月12日

会場・静岡市文化財資料館

(c)期日・昭和54年1月17日

会場・当館1階会議室

(a)(b)(c)とも静岡県博物館協会主催で開催され、小林学芸主任が(a)(b)(c)に、清水学芸員が(b)(c)に出席。

庶務報告

1. 昭和53年度入館者状況(但し、有料者のみ)

区分 月	大 人	小 人	団 体	計
4 月	7,984	1,771	349	10,104
5 月	7,767	4,279	1,172	13,218
6 月	4,685	206	231	5,122
7 月	4,835	651	457	5,943
8 月	9,334	3,410	597	13,341
9 月	7,152	784	913	8,849
10月	7,073	494	2,496	10,063
11月	7,151	540	1,133	8,824
12月	2,932	283	258	3,473
1 月	10,018	2,250	362	12,630
2 月	9,934	1,232	1,087	12,253
3 月	11,697	2,184	768	14,649
計	90,562	18,084	9,823	118,469

2. そ の 他

- 5月14日 京都国立博物館稲田和彦氏他日本美術刀剣保存協会京都支部員34名が当館所蔵刀剣特別鑑賞のため来館。
- 9月22日、松浦館長が「澤田政廣展」(於佐野美術館)レセプションに出席。
- 11月8日及び15日、東海大学海洋科学博物館職員50名が研修のため来館。
- 11月9日付で伊藤雅子を書記に採用。
- 11月17日、県所蔵刀剣手入れに県文化課日比野秀男氏来館。
- 11月29日～12月1日、文化庁美術工芸課が当館の家康遺品を再調査。
- 12月9日、小林学芸主任、清水学芸員が清水港湾資料館を視察。
- 2月22日、NHKテレビが家康画像と重文歯染具足を撮影。
- 3月5日～10日 松浦館長が渡米。
- 本年度に下記の人々が来館した。

今枝愛真氏(東大史料編纂所教授, 8月29日), 沼田次郎氏(前東大史料編纂所長, 8月29日), 宮崎隆旨氏(奈良県立美術館学芸員, 9月2日), 青木延郎氏(清水港湾資料館, 11月18日及び12月22日), 太田正弘氏(名古屋市博物館学芸員, 11月24日), 佐藤寛次氏(12月16日), 所三男氏(徳川林政史研究所長, 12月24日)。



甲冑調査中の鈴木敬三博士

昭和54年度

館内業務

1. 特別展

○重要文化財徳川家康遺品展

会期＝昭和54年9月1日～11月30日

本年6月6日付で重文に指定された家康の遺品を展示公開。

○徳川将軍のよろい展

会期＝昭和55年1月1日～4月2日

徳川将軍の甲冑19領及び小道具類を展示。

2. 資料の寄贈

昭和54年5月23日、徳川脩氏より徳川慶喜書蹟「愛敬」「静」「丹心鐵石」の掛軸3幅が寄贈された。

3. 刀剣類定期手入れ

昭和54年12月3日、掛川市の刀剣研磨師池田猪太郎氏の手により行われた。

4. 保護箱の新調

昭和55年3月2日、書画類の保護箱を38合新調した。

5. 甲冑・染織品の調査

國學院大學教授鈴木敬三氏の御指導で、当館所蔵の甲冑及び染織品の調査を、昭和54年7月3日～5日、9月9日～13日、10月29日～31日及び昭和55年3月19日～21日に行った。尚、3月の調査には栗原澄子・宇田川武久の両氏も参加。

6. 資料の撮影

昭和54年7月19日より21日まで3日間、所蔵甲冑及び小道具類の写真撮影を榎大塚巧藝社写真部に依頼し行った。

7. 文化財入門講座

○第14回文化財入門講座

期日＝昭和54年8月12日

内容「江戸時代の生活と道具」

講師 静岡県文化財保存協会常任理事 井出孝氏

8. 講演会

○第3回静岡の歴史と人物講演会

期日＝昭和54年11月3日

演題「家康の側近本多・大久保氏の争い」

講師 静岡県立中央図書館指導主事 杉山元衛氏

9. 友の会活動

○昭和54年6月3日、(財)駿府博物館主催の名古屋市内博物館巡りへ参加。

○8月12日、第14回文化財入門講座へ参加。

○9月～11月 特別展「重要文化財徳川家康遺品」を鑑賞。

○11月3日、第3回静岡の歴史と人物講演会聴講。

○昭和55年1月15日、学芸員の講話と映画会へ参加。

館 外 業 務

1. 資料の出品

- 徳川家康関係資料の重文指定審議及公開

期間・昭和54年2月9日～7月31日

会場・東京国立博物館

徳川家康遺品（文書・染織・調度）を多数出品。

- 「徳川将軍御遺品を中心とした名宝と武器・武具展」

会期・昭和54年4月24日～9月5日

会場・日光東照宮宝物館

甲冑4領と小道具6点を出品。

- 「黙斎関口隆吉偉業回顧展」

会期・昭和54年5月1日～27日

会場・(財)駿府博物館

関口隆吉像を出品。

- 「江戸文化名宝展」

会期・昭和54年9月4日～11月23日

会場・日光東照宮宝物館

甲冑2領刀剣3口と空穂（矢3本入）を出品。

- 「近代日本の洋画展」

会期・昭和54年10月6日～28日

会場・浜松市美術館

徳川慶喜像2面と慶喜筆油絵2面を出品。

- 「戦国鉄砲展」

会期・昭和55年3月29日～4月9日

会場・新静岡センター展示場

徳川家光所用試し胴具足を出品。

2. 静岡県博物館協会総会

期日・昭和54年5月29日

会場・(財)駿府博物館

昭和54年度総会が開催され、松浦館長、小林学芸主任、清水学芸員が出席。

3. 東海地区博物館連絡協議会総会

期日・昭和54年6月21日～22日

会場・山梨県立美術館

昭和54年度総会が開催され、松浦館長、小林学芸主任が出席。

4. 全国博物館大会

期日・昭和54年9月20日～23日

会場・仙台市

第27回大会が開催され、松浦館長、清水学芸員が出席。

5. 静岡県文化財保存協会総会

期日・昭和54年6月20日

会場・清水市文化会館

- 昭和54年度総会が開催され、小林学芸主任が出席。
6. 文化講演会
 期日・昭和54年10月6日
 会場・浜松市美術館
 演題「中国の文化と博物館」
 講師 (財)佐野美術館副館長 渡辺妙子氏
 第3回文化講演会が静岡県博物館協会主催で開催され、松浦館長、小林学芸主任、清水学芸員が出席。
7. 研究交換会
 期日・昭和54年8月29日～30日
 会場・浜松市美術館
 静岡県・神奈川県両博物館協会共催で開催され、松浦館長、小林学芸主任、清水学芸員が出席。
8. 学芸職員研究集会
 (a)期日・昭和54年6月15日
 会場・清水市 井出孝氏宅
 (b)期日・昭和54年12月14日
 会場・(財)駿府博物館
 (c)期日・昭和55年3月7日
 会場・(財)救世熱海美術館
 (a)(b)(c)とも静岡県博物館協会の主催で開催され、小林学芸主任、清水学芸員が出席。

庶務報告

1. 昭和54年度入館者状況

区分 月	大人	小人	団体	ロープ ウェイと 共通	クーポン	無料	計
4月	8,051	1,465	1,568	1,072	330	94	12,580
5月	7,838	1,215	2,540	1,344	544	134	13,615
6月	4,345	174	1,009	954	0	78	6,560
7月	3,710	525	410	504	267	122	5,538
8月	6,747	2,645	239	1,201	661	153	11,646
9月	6,054	576	1,635	586	357	113	9,321
10月	6,003	303	1,629	462	666	74	9,137
11月	6,920	518	1,252	654	357	179	9,880
12月	3,257	324	256	232	0	74	4,143
1月	8,494	1,776	390	832	0	115	11,607
2月	9,864	1,116	706	689	0	170	12,545
3月	13,487	3,125	964	1,115	321	225	19,237
計	84,770	13,762	12,598	9,645	3,503	1,531	125,809

2. そ の 他

- 4月11日、研究室と作業室が整備された。
- 8月4日、研究室に社内電話が取り付けられた。
- 福島大学栗原澄子氏が当館所蔵の染織類の調査を下記の期日に行った。
8月20日～22日、9月9日～11日
- 9月26日、県所蔵刀剣手入れに県文化課日比野秀男氏他6名来館（12月12日も同様）。
- 10月11日、防盜装置を修理。
- 11月14日、NHKが資料撮影、12月の番組で紹介。
- 11月20日、NHK静岡が特別展を取材。
- 1月25日、防火訓練を行った。
- 2月15日、送風機、クーラーのモーターファンのベアリング、ベルトを交換。
- 本年度に下記の人々が来館した。

鈴木友也氏（文化庁美術工芸課主任文化財調査官、8月3日）、松田公氏（柏原市教育委員会、9月28日）、浅井忠氏（静岡大学、10月7日）、野田克巳氏（岡崎市観光課、1月7日）、小林正志氏、霜田晋氏（国立民俗博物館、1月30日）、徳川慶朝氏（2月2日）、柳生宗久氏（2月2日）、滝浦潔氏（大阪大学名誉教授、2月5日）、小林清司氏（岡崎市立図書館司書、2月9日）、大野端男氏（国立史料館教授、2月28日）、星野紘氏（文化庁文化財調査官、3月18日）、遠藤新吉氏（表具師、3月20日）、徳川為子氏（3月25日）。



博物館の名品2 大字「静」慶喜筆 1幅

絹本墨書 縦90.4 横50.1cm

慶喜の能書は幼時より定評があった。一橋家を相続した後、戸川安清、鈴木清熙らを師と仰ぎ、その書風も数度の変遷をみている。晩年はゆったりとした落着きのある中に、剛健を含んだ書を送っている。この大字は晩年のもので、悠悠自適^{ゆうゆうじてき}の生活を送っていた慶喜の心境を象徴しているかのようである。

昭和55年度

館内業務

1. 特別展

○徳川将軍の名刀展

会期＝昭和55年4月10日～6月30日

国宝太刀 銘 真恒、重文太刀三池他刀剣・刀装20点に甲冑・染織・書画等約100点を展示。

○徳川将軍家の名宝展

会期＝昭和55年7月10日～9月30日

甲冑・刀剣・染織・書画の優品を展示。

○徳川将軍の遺品展

会期＝昭和56年1月1日～3月31日

徳川歴代将軍の遺愛品を展示。

2. 刀剣類定期手入れ

昭和55年11月18日、池田猪太郎氏（刀剣研磨師）の手により行われた。

3. 保存室内部の改造

昭和55年12月4日～17日、耐震と資料整理の便を計り、内部の棚に引き出しを設ける等の改造をした。

4. 甲冑・染織品の調査

昭和55年7月22日～23日及び8月22日～26日、國學院大學教授鈴木敬三氏の御指導で当館所蔵の甲冑、染織品の調査を行った。

5. 資料の撮影

昭和55年9月18日～20日、館蔵品の中で甲冑・染織・小道具類の写真撮影を榊大塚巧藝社写真部に依頼し行った。

6. 文化財入門講座

○第15回文化財入門講座

期日＝昭和55年7月27日

内容「彫刻の歴史と見方」

講師 神奈川県立博物館主任研究員 清水真澄氏

7. 友の会活動

○昭和55年5月5日、児童対象の映画会を開催。

○7月27日 第15回文化財入門講座へ参加。

○9月14日 映画と学芸員講話会へ参加。

○昭和56年2月11日 映画と会員懇話会実施。

館外業務

1. 資料の出品

○「戦国鉄砲展」

会期・昭和55年3月29日～4月9日

会場・新静岡センター展示場

徳川家光所用試し胴具足を出品。

- 「近代洋画の先駆者たち展」
会期・昭和55年4月26日～5月8日
会場・名古屋丸栄スカイル8階展示場
徳川慶喜関係油絵4点を出品。
- 「日本の写経展」
会期・昭和55年9月27日～10月29日
会場・(財)佐野美術館
伝徳川家康筆日課念仏を出品。
- 特別展「桃山の美術」
会期・昭和55年11月2日～25日
会場・(財)富士美術館
重文蒔絵香具箱・蒔絵長持を出品
- 2. 静岡県博物館協会総会
期日・昭和55年5月23日
会場・(財)駿府博物館
昭和55年度総会が開催され、松浦館長、小林学芸主任、清水学芸員が出席。松浦館長が会長に再任。
- 3. 東海地区博物館連絡協議会総会
期日・昭和55年6月26日～27日
会場・神奈川県立博物館
昭和55年度総会が開催され、清水学芸員が出席。
- 4. 日本博物館協会総会
期日・昭和55年6月24日
会場・東京国立科学博物館
昭和55年度総会が開催され、小林学芸主任が出席。
- 5. 私立館長会議
期日・昭和55年6月25日
会場・東京国立科学博物館
松浦館長が出席。
- 6. 全国博物館大会
期日・昭和55年10月7日～8日
会場・熊本市
第28回大会が開催され、松浦館長、小林学芸主任が出席。
- 7. 静岡県文化財保存協会総会
期日・昭和55年6月12日
会場・静岡浅間神社
昭和55年度総会が開催され、清水学芸員が出席。
- 8. 文化講演会
期日・昭和55年11月1日
会場・(財)佐野美術館
演題「梅干と日本刀」
講師 國學院大學名誉教授 樋口清之氏

第4回文化講演会が静岡県博物館協会主催で開催され、松浦館長、小林学芸主任、清水学芸員が出席。

9. 学芸職員研究集会

(a)期日・昭和55年9月26日

会場・清水港湾資料館

(b)期日・昭和55年12月10日

会場・(財)駿府博物館

(c)期日・昭和56年3月6日

会場・三島市郷土館

(a)(b)(c)とも静岡県博物館協会主催で開催、(a)(c)に小林学芸主任、(a)(b)(c)に清水学芸員が出席。

10. 静岡県博物館協会臨時役員会

期日・昭和56年3月13日

会場・(財)駿府博物館

松浦館長、小林学芸主任、清水学芸員出席。

庶務報告

1. 昭和55年度入館者状況

区分 月	大人	小人	団体	ロープ ウェイと 共通	クーポン	無料	計
4月	9,626	1,886	1,922	717	221	267	14,639
5月	10,422	1,919	3,288	856	667	83	17,235
6月	6,427	250	1,296	329	0	159	8,461
7月	5,702	783	1,111	366	335	101	8,398
8月	12,401	4,341	459	1,479	987	100	19,767
9月	6,379	583	2,171	617	477	196	10,423
10月	6,778	408	3,907	712	570	216	12,591
11月	8,053	849	2,089	805	412	201	12,409
12月	2,746	308	340	224	0	33	3,651
1月	6,660	1,645	572	861	0	38	9,776
2月	6,854	663	701	555	0	145	8,918
3月	10,515	2,104	1,439	853	293	185	15,389
計	92,563	15,739	19,295	8,374	3,962	1,724	141,657

2. その他

○4月末より5月にかけて屋根の修理が行われた。

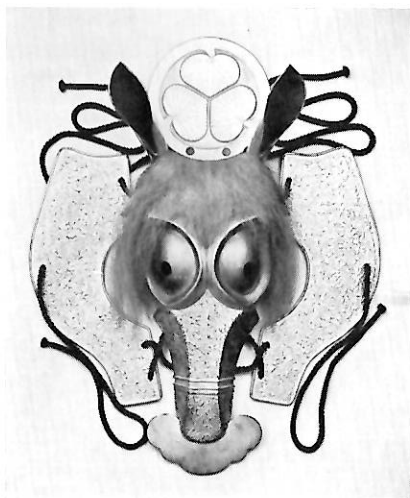
○4月28日及び8月11日、県所蔵の刀剣手入れが行われた。

○6月10日（時の記念日）、録音された家康の時計がSBS放送より流された。

○7月18日 友の会室に暗幕を設けた。

- 7月21日～26日 文化財展示取扱い講習会に清水学芸員が参加。
- 7月22日～24日及び8月21日 福島大学講師栗原澄子氏が染織調査に来館。
- 7月24日 県内学芸員打合せ会に小林学芸主任が出席。
- 8月29日、「家康像」「竹金雀図」のしみぬきを遠藤新吉氏に依頼。
- 9月8日、展示ケースに地震対策として絨毯を設置。
- 9月13日 展示室の冷房装置を修理。
- 10月1日より入館料を大人のみ改正（大人 250 円、共通大人 450 円）。
- 10月3日、徳川美術館の豪州出品記念特別展開催式に松浦館長、小林学芸主任が出席。
- 10月5日 三笠宮同妃両殿下御来館
- 10月22日、SBS静岡放送資料撮影。
- 10月27日～31日、近世史料取扱い講習会（於国立史料館）に小林学芸主任が参加。
- 12月3日、NHK資料撮影。
- 12月7日、ハビエル・アレホ駐日メキシコ大使夫妻が来館。洋時計、鉛筆を鑑賞。
- 12月25日 静岡県教育委員会的美術・歴史資料調査打合せ会に小林学芸主任が出席。
- 1月15日 駿府博物館友の会映画会に清水学芸員が映写技師として出向。
- 1月27日 防火訓練実施。
- 2月9日～11日 避雷針を修理。
- 3月24日 県文化財調査報告会に小林学芸主任が出席。
- 本年度に下記の人々が来館した。

徳川慶光氏（4月8日）、杉山元衛氏（静岡高校教諭、4月18日）、樋口清之氏（國學院大學名誉教授、5月28日）、徳川義宣氏（徳川美術館長、6月12日及び12月22日）、横山剛史氏（富士美術館、6月29日）、石山隆治氏（SBS静岡放送、7月11日）、中野宥氏（登呂博物館学芸員、8月4日）、新井慧誉氏（二松学舎大学助教授 8月11日）、宇田川武久氏（国立歴史民俗博物館準備室員 8月22日～26日）、堀沢光栄氏（富士美術館学芸員、9月6日）、杉山孝子氏（佐野美術館学芸員、9月23日）、山下徹氏（静岡新聞社出版局、9月25日）、牧田三郎氏（鑑司、10月4日）、鈴木友也氏（文化庁、11月28日）、小和田哲男氏（静岡大学助教授、12月22日）、野田克巳氏（岡崎市観光課、2月7日）、水野欣三郎氏（浜松市文化財審議会委員、3月5日）、松尾克美氏（前岐阜県博物館長、3月6日）。



博物館の名品3 馬面 伝家茂所用

馬に着せる甲を馬甲といい、その中で馬の面に被せるのが馬面である。本品は14代將軍家茂所用の伝来があるもので、馬面の額・鼻及び頬当には牛の革に黒漆を塗り、たたいて金箔をはり、両眼と鼻先は金箔置にし、眼瞼の内側は朱塗で眼玉は黒塗とする。馬面の裏は黒漆塗である。また両耳も金箔置で内側を朱塗とし、耳間に金箔置の葵丸紋を二箇の鉾で打ち付けている。額髪は白熊の毛を用い、頬当の中央と耳及び鼻の横より紫丸八打のかがり緒をそれぞれ出している。全長50センチ、額幅13.1センチ、重量400グラム。

昭和56年度

館内業務

1. 特別展

○大徳川展

会期＝昭和56年10月4日～25日

徳川將軍家武器類奉納百年を記念し、徳川宗家所蔵の静寛院宮調度・難道具等を特別公開。甲冑・刀剣も歴代毎に展示。

○徳川將軍の刀剣と甲冑展

会期＝昭和57年1月1日～3月31日

徳川將軍ゆかりの刀剣・甲冑を中心に、染織・指揮具等を加えた館蔵武器武具の名品を展示。

2. 刀剣類定期手入れ

昭和56年11月24日、池田猪太郎氏の手により行われた。

3. 資料の修理

○昭和56年7月24日、紺絲威星兜付属の全身竜の前立物（徳川吉宗所用）が鎧司牧田三郎氏の手により修復された。

○昭和56年12月18日、「東照大権現像（天海簀）」と徳川家慶筆「竹金雀図」が遠藤新吉氏の手でしみぬき表具替された。

4. 甲冑・家康遺品の調査

昭和56年4月27日～30日及び8月18日～22日、國學院大學教授鈴木敬三氏の御指導で当館所蔵の甲冑と家康遺品（主に手沢品）の調査を行った。

5. 資料の撮影

昭和56年5月13日～15日、図録掲載用の資料の写真撮影を榊大塚巧藝社写真部に依頼し行ない完了した。

6. 文化財入門講座

○第16回文化財入門講座

期日＝昭和56年9月6日

内容「茶道史と茶道具」

講師 徳川美術館学芸課長 佐藤豊三氏

7. サマースクール

○第1回サマースクール

期日＝昭和56年8月3日～5日

主催 当館・(財)駿府博物館

会場 当館及び久能山周辺

内容 (1)久能山の歴史と文化財

(2)久能山の昆虫・植物・地質

(3)駿河湾のさかな

講師 (財)駿府博物館学芸員 安本収氏

東海大学海洋科学博物館学芸員 西源二郎氏

久能山東照宮権祢宜 塩谷陸男

当館学芸主任 小林明

同 学芸員 清水実

8. 友の会活動

○昭和56年5月5日 映画鑑賞。

○9月6日 第16回文化財入門講座へ参加。

○10月4日～25日 大徳川展を個々に見学。

館 外 業 務

1. 資料の出品

○「暦と和時計展」

会期・昭和56年8月1日～9日

会場・浜松市博物館

重文洋時計を特別出品。

○「江戸大美術展」

会期・昭和56年10月24日～昭和57年2月21日

会場・英国ロイヤルアカデミー・オブ・アーツ〈ロンドン〉

主催・国際交流基金・英国ロイヤルアカデミー・オブ・アーツ

後援・外務省・文化庁

紺絲威鎧（徳川吉宗所用）、紅絲威具足、東照大権現像を出品。

○「茶壺展」

会期・昭和56年10月3日～11月29日

会場・徳川美術館、根津美術館

重文茶壺（九右衛門・金森）2口を出品。

○特別展「甲冑」

会期・昭和56年11月3日～15日

会場・千葉県立総南博物館

重文齒朶具足を出品。

○「武將と名刀展」

会期・昭和56年11月7日～17日

会場・（財）佐野美術館

重文太刀 無銘 光世作を出品。

○「静岡県ゆかりの国宝・重文展」

会期・昭和57年2月20日～3月21日

会場・浜松市美術館

重文齒朶具足と萌葱絲威具足（徳川家茂所用）を出品。

2. 静岡県博物館協会総会

期日・昭和56年5月26日

会場・（財）駿府博物館

昭和56年度総会が開催され、松浦館長、小林学芸主任、清水学芸員が出席。

3. 東海地区博物館連絡協議会総会

期日・昭和56年6月25日～26日

会場・瑞浪市立化石博物館

- 昭和56年度総会が開催され、松浦館長・小林学芸主任が出席。
4. 日本博物館協会総会
期日・昭和56年6月30日
会場・東京国立科学博物館
昭和56年度総会が開催され、小林学芸主任が出席。
 5. 私立館長会議
期日・昭和56年7月1日
会場・東京国立科学博物館
松浦館長が出席。
 6. 全国博物館大会
期日・昭和56年11月5日～7日
会場・東京
第29回大会が開催され、松浦館長、清水学芸員が出席。席上、松浦館長が長年にわたる博物館界への功績を認められた文部大臣表彰を受賞。
 7. 文化講演会
期日・昭和57年3月7日
会場・(財)駿府博物館
演題「万葉集の流れ—人麻呂影供と人麻呂像と—」
講師 國學院大學教授 桜井満氏
第5回文化講演会が静岡県博物館協会主催で開催され、松浦館長、清水学芸員が出席。
 8. 学芸職員研究集会
期日・昭和56年12月11日
会場・(財)駿府博物館
静岡県博物館協会主催で開かれ、小林学芸主任、清水学芸員が出席。
 9. 全日本博物館学会談話会
期日・昭和56年8月17日
会場・(財)佐野美術館
松浦館長、清水学芸員が出席。
 10. 静岡県博物館協会臨時役員会及び総会
期日・昭和56年9月3日(役員会)
同 9月8日(総会)
会場・(財)駿府博物館
松浦館長、小林学芸主任(総会のみ)、清水学芸員が出席。



大徳川展を視察される徳川恒孝氏夫妻と
徳川宗敬氏

庶務報告

1. 昭和56年度入館者状況

区分 月	大人	小人	団体	ロープ ウエーと 共 通	クーポン	無 料	計
4 月	5,779	1,148	1,747	739	209	103	9,725
5 月	7,571	1,564	3,602	1,137	576	194	14,644
6 月	4,086	145	2,378	328	0	94	7,031
7 月	3,521	464	880	383	229	92	5,569
8 月	4,380	2,694	584	1,837	585	203	10,283
9 月	4,678	455	849	623	316	338	7,259
10月	8,090	1,029	4,148	5,898	570	191	19,926
11月	5,877	833	1,673	824	371	382	9,960
12月	2,587	375	327	272	0	78	3,639
1 月	8,125	1,779	398	1,260	0	39	11,601
2 月	6,116	588	725	508	0	103	8,040
3 月	9,443	2,191	2,029	1,184	295	151	15,293
計	70,253	13,265	19,340	14,993	3,151	1,968	122,970

2. そ の 他

- 4月5日～6日、7月25日～26日及び8月21日～22日、福島大学講師栗原澄子氏が当館所蔵の染織調査に来館。
- 5月8日、清水学芸員が社会教育調査実施説明会に出席。
- 5月15日、NHK静岡放送局、御遺訓撮影。
- 5月22日、小林学芸主任、熱川バナナワニ園長故木村亘氏葬儀に参列。
- 6月2日及び29日、冷房装置の宅外機風向板取り替え。
- 6月4日及び10月15日、県所蔵刀剣の手入れ。
- 7月6日～11日、文化財展示取扱い講習会に清水学芸員参加。
- 7月19日、松浦館長、テレビ朝日にゲスト出演。
- 7月31日、「暦と時計展」開会式に松浦館長、小林学芸主任出席。
- 8月1日～6日 東海大学生4名が博物館実習を当館で行った。
- 9月12日 浩宮徳仁親王殿下御来館。
- 10月20日 久能小学校児童（5,6年生）が当館で学習会開催（講師松浦館長）。
- 10月24日、熱田神宮宝物館刀剣関係者が当館刀剣を特別鑑賞。
- 1月10日、小林学芸主任がMOA美術館開館式に出席。
- 1月15日、(財)駿府博物館友の会映画会に清水学芸員協力参加。
- 本年度に下記の人々が来館した。

今枝愛真氏（東大史料編纂所長、5月9日）、三浦弥之助氏（鑑司、5月25日及び6月3日）、市原允氏（総南博物館学芸課長、6月17日）、草間氏（富士自然公園、6月30日）、

間宮真氏（コミュニケーションディレクター，7月13日資料撮影），徳川義宣氏（徳川美術館長，7月15日及び12月7日），木村智氏・中村武久氏（熱川バナナワニ園，7月22日），西田宏子氏（根津美術館学芸課長，7月30日），フエダプロ（資料撮影，8月17日），山口裕次氏（日本美術刀剣新聞社，9月5日），岡尾氏（SBS，9月7日及び15日，資料撮影），菊池裕氏（NHK大阪，9月28日資料撮影），徳川恒孝氏，徳川宗敬氏（10月4日），石塚弘氏（高松宮家，10月10日），木下伊助氏（徳川宗家顧問，10月13日），神戸市教育委員会職員（10月17日），静寛院宮奉賛会（10月22日），栗原澄子氏（福島大学講師，10月25日），浅井忠氏（静岡大学，10月25日），町田市立博物館友の会（12月6日），國學院大学日本史研究会（12月24日），鈴木友也氏（文化庁，1月2日），鴛田孝一氏（大塚巧藝社，1月13日），長谷川繁氏（静岡新聞社出版局，2月12日），古賀忠道氏（前上野動物園長，2月21日），小倉博氏（成田山史料館，2月25日），原政宏氏（清水市商工観光課，2月26日），藤山茂治氏（TBSテレビ，3月9日資料撮影），野田克己氏（岡崎市観光課長，3月11日），日比野秀男氏（県美術博物館建設準備室，3月24日）。

博物館の名品4

卯花威胴丸 慶喜所用

慶喜の一橋家相続以来の着領と伝えられる胴丸で，水戸住の明珍宗次の作になるもの。兜は錆地24間二方白星鉢で正面の地板には銀を用い，金銅の篠垂を前に3条，後に2条垂らす。袴は盛上本小札5段を3段吹返とし，上3段を白糸，裾を萌葱糸で毛引に威す。裾金物は枝菊透彫。吹返は2枚韋包みとし縁に紫菊唐草錦韋を用い据文を三葉葵とする。鉾形台・祓立台は枝菊透彫で葵丸紋を据える。胴の形制は立拵前2段・後3段を白糸で，衡胴4段を萌葱糸で威し，8間5段の草摺の上2段を白糸，下2段を萌葱糸で威す。胴裏はすべて薰草。頬当は錆地。大袖は7段で上3段を白糸，下3段を萌葱糸で威す。籠手は錆地5本篠竹の節彫り入れて肘金に菊金物3段を配し，家地を紺地雲龍金欄とする。脛当は錆地5本丸篠に竹の節を入れ，紅糸菱綴とする。鉸具摺は黒漆襷韋。家地は籠手に同じ。伊予佩盾は5段下りで家地は籠手同様とする。重量16050グラム。



昭和57年度

館内業務

1. 特別展

○佐幕派の英傑展

会期＝昭和57年10月9日～11月7日

新選組誕生120年、静岡鉄道日本平ロープウェイ開通25周年を記念し、佐幕派の人々を紹介したもので、孝明天皇宸翰御内勅、松平春嶽辞世和歌、井伊直弼所用赤塗胴具足、山内容堂戯画、川路聖謨自決の短銃、江川英竜自画像、勝海舟所用短銃、近藤勇・土方歳三肖像古写真等に当館所蔵の12代家康より15代慶喜にいたる刀剣、甲冑、書画等を加え約100点を展示。出品協力は(財)徳川黎明会、松平永芳氏、松平保定氏、福井市立郷土歴史博物館、井伊美術館、小島資料館、江川邸、靖国神社、鉄舟寺、白鳥知氏、佐藤君子氏、土方康氏、川田貞夫氏、東大史料編纂所、(財)駿府博物館。

○徳川家康の刀剣と甲冑展

会期＝昭和58年1月1日～3月31日

当館所蔵の家康遺品の中より刀剣と甲冑を中心に展示。

2. 資料の寄贈

昭和57年10月10日、清水市の長谷川旭氏より「家康及び徳川十六将図」1幅が寄贈された。

3. 刀剣類定期手入れ

昭和57年9月29日、池田猪太郎氏の手により行われた。

4. 館蔵品図録の出版

館蔵品の総合図録「久能山東照宮伝世の文化財」（鈴木敬三博士監修）を昭和58年8月上旬に限定500部で出版。本書はB4版変形で総頁数346頁のうち原色図版120頁、単色図版140頁。巻頭に蔵品総目録を付け、鈴木敬三博士の詳細な論考「久能山東照宮の神宝と江戸城紅葉山の武器」を掲載。尚、9月4日には徳川恒孝氏夫妻、鈴木博士等を来賓に出版祝賀会を開催。

5. 文化財入門講座

○第17回文化財入門講座

期日＝昭和57年9月26日

内容「近世の郷土画人とその作品」

講師 浜松市美術館学芸員 金原宏行氏

6. サマースクール

○第2回サマースクール

期日＝昭和57年8月3日～5日

主催 当館・(財)駿府博物館

会場 当館及び久能山周辺、(財)駿府博物館

内容 (1)久能山の昆虫、植物、地質

(2)駿河湾のさかな、竹細工

(3)久能山の歴史と文化財

講師 (財)駿府博物館学芸員 安本収氏

東海大学海洋科学博物館学芸員 西源二郎氏

久能山東照宮々司 松浦国男
 同 祢宜 桜井利正
 当館学芸員 清水実
 森本竹工芸所 森本甲子男氏

7. 友の会活動

○昭和57年9月26日、第17回文化財入門講座へ参加。

館 外 業 務

1. 資料の出品

○特別展「上野国の大名」

会期・昭和57年7月17日～8月31日

会場・群馬県立歴史博物館

徳川綱吉筆「神農像」「鶴鶴図」の2幅を出品。

○「'82日本カメラショー」

会期・昭和57年9月1日～8日

会場・松坂屋静岡店

徳川慶喜肖像写真、慶喜所用カメラ3台、慶喜撮影写真7葉を出品。

○特別展「海のシルクロード」

会期・昭和57年11月3日～12月19日

会場・神戸市立博物館

重文洋時計・鉛筆・鋏・けひきばしを出品。

○特別展「徳川家康と四天王」

会期・昭和57年11月3日～23日

会場・岡崎市三河武士のやかた家康館

重文歯染具足・太刀 無銘 光世作・脇指 無銘 行光作、鎗 銘 長吉、家康筆「鷺図」を出品。

○「徳川家康展」

会期・昭和58年3月30日～4月5日

会場・静岡伊勢丹百貨店

東照大権現像、家康筆覚書・「鷺図」の3幅を出品。

2. 静岡県博物館協会総会

期日・昭和57年4月27日

会場・浜松市美術館

昭和57年度総会が開催され、松浦館長、小林学芸主任、清水学芸員が出席。席上、松浦館長が会長に再任された。

3. 東海地区博物館連絡協議会総会

期日・昭和57年6月10日～11日

会場・浜松市博物館

昭和57年度総会が静岡県の当番で開催され、松浦館長、小林学芸主任、清水学芸員が出席。

4. 日本博物館協会総会

期日・昭和57年6月25日

会場・東京国立科学博物館

昭和57年度総会が開催され、松浦館長が出席（24日の支部長会議には館長代理で小林学芸主任出席）。

5. 全国博物館大会

期日・昭和57年11月5日～8日

会場・松山市

第30回大会が開催され、松浦館長、西野会計主任が出席。

6. 静岡県文化財保存協会総会

期日・昭和57年6月18日

会場・県教育会館

昭和57年度総会が開催され、小林学芸主任が出席。松浦館長が理事に選出された。

7. 学芸職員研究集会

(a)期日・昭和57年7月7日

会場・加藤学園考古学研究所

(b)期日・昭和57年12月16日

会場・登呂博物館

静岡県博物館協会主催で開催され、小林学芸主任・清水学芸員が出席。

8. 「しずおかの博物館」刊行編集委員会

昭和57年10月20日、11月16日及び25日に静岡県博物館協会刊行「しずおかの博物館」の編集委員会が(財)駿府博物館で開催され、清水学芸員が出席。同書は12月初旬刊行。

9. NHK大河ドラマ「徳川家康」専門委員会

昭和57年6月28日、10月13日及び12月16日、静岡市観光協会主催で静岡市役所（6・10月）、パルシェ駅ビル（12月）で開催、小林学芸主任が出席。

区分 月	大 人	小 人	団 体	ロープ ウェイと 共通	クーボン	無 料	計
4 月	7,159	1,434	2,804	730	329	191	12,647
5 月	9,100	1,703	3,540	1,331	502	198	16,374
6 月	5,539	257	1,695	541	0	343	8,375
7 月	4,495	661	1,054	414	173	66	6,863
8 月	8,947	3,364	445	1,669	593	194	15,212
9 月	3,717	170	1,076	359	294	196	5,812
10月	5,888	567	4,587	2,625	633	159	14,459
11月	7,005	801	2,134	1,387	284	170	11,781
12月	3,410	414	361	494	0	135	4,814
1 月	10,490	2,766	371	1,859	0	165	15,651
2 月	9,307	1,089	757	834	508	299	12,794
3 月	13,037	3,190	2,165	1,979	1,432	293	22,096
計	88,094	16,416	20,989	14,222	4,748	2,409	146,878

庶務報告

1. 昭和57年度入館者状況

2. その他

- 7月21日～22日及び8月27日、福島大学講師栗原澄子氏が当館所蔵の染織調査に来館。
- 7月26日～31日、文化財展示取扱い講習会に清水学芸員参加。
- 8月1日～6日、東海大学生3名が当館で博物館実習。
- 10月25日、NHKテレビ「今日のレポート」に当館が紹介され、松浦館長が出演。
- 11月3日、岡崎市三河武士のやかた家康館の開館式に松浦館長、小林学芸主任が出席。
- 12月2日及び23日、2階入口のドア及びシャッターのワイヤを修理。
- 12月4日、中部電力郷土史研究会が当館見学。
- 1月25日、防火訓練実施。
- 3月20日付で西野会計主任退職。
- 本年度に下記の人々が来館した。

懸田弘訓氏（福岡県文化課主査、4月11日）、西村義郎氏（岐阜県博物館、4月23日）、滝田栄氏（俳優、5月28日）、大村和男氏（登呂博物館学芸員、4月30日）、中国大使（5月9日）、静岡市観光課（6月7日）、梅沢博幸氏（群馬県立歴史博物館長、6月29日）、松岡新也氏（マツオカプロダクション取締役社長、7月9日）、池谷正氏（静岡新聞社事業部、7月9日及び30日、9月9日、3月1日、23日）、野田克巳氏（岡崎市観光課長、7月16日）、鵠田孝一氏（大塚巧藝社、7月16日及び30日、2月17日）、大石益光氏（静岡新聞社長、8月15日）、柴崎貫二氏（群馬県立歴史博物館、8月19日）、北見登氏（大塚巧藝社、8月31日）、渋谷康生氏（NHK大河ドラマプロデューサー、9月11日）、川田貞夫氏（宮内庁書陵部、10月10日）、香村俊明氏（鉄舟寺責任役員、10月15日）、伊丹重雄氏（江川邸、10月21日）、山田・峰両氏（愛知県陶磁資料館、10月21日）、川松康人氏（町田市立博物館学芸員、10月25日及び1月25日）、小島宗市郎氏（小島資料館長、10月24日）、白鳥知氏（11月5日）、宮崎隆旨氏（奈良県立美術館、11月22日）、荒川一郎氏（富士市立博物館、12月18日）、向坂鋼二氏（浜松市博物館長、12月20日）、梅田亮三氏（大塚巧藝社専務、1月14日）、朝尾直弘氏（京都大学教授、1月19日）、人見彰久氏（岡山県史編纂室、1月19日）、浦井正明氏（寛永寺執事、1月21日）、中溝氏（町田市立博物館、1月25日）、徳川義宣氏（徳川美術館長、2月2日）、清水薫氏（静岡第一テレビ、2月3日）、岩田敏夫氏（NHK、2月18日）、内藤清正氏（読売新聞社、3月5日）、加藤和夫氏（豊清二公顕彰館、3月11日）、伊達篤郎氏（瑞鳳殿事務局長、3月12日）、小沢誠氏（大東文化大学教授、3月15日）、堀則夫氏（児童会館、3月15日）。



「久能山東照宮伝世の文化財」
出版祝賀会の徳川恒孝氏夫妻と
鈴木敬三博士

昭和58年度

館内業務

1. 特別展

○特別展「徳川家康をめぐる女性たち」

会期＝昭和58年4月9日～5月8日

NHK大河ドラマ「徳川家康」の放映を記念し、家康の生母・祖母・正室・側室・娘・孫娘・伯母等の生涯と事蹟を紹介したもので、於大の方画像・華陽院画像・朝日姫画像・於亀の方所用貝桶、於万の方所用文台・硯箱、亀姫所用薙刀、督姫画像、市姫遺品の雛屏風、重文本多平八郎姿絵屏風、重文相応寺屏風、千姫筆「猿猴図」、東福門院御消息、珠姫所用小袖、家康自筆女性宛消息等に当館所蔵の重文家康遺品を加え約80点を展示。出品協力は(財)徳川黎明会、日光東照宮、東京国立博物館、岡崎市三河武士のやかた家康館、大阪城天守閣、(財)岡山美術館、徳川義宣氏、榊原政春氏、本多隆将氏、波多野幸彦氏、清涼寺、久昌院、南明院、清涼院、弘経寺、蓮永寺、瑞竜寺、華陽院、能満寺、竜拈寺、桜井寺、広忠寺、本宗寺、大法院、菅生石部神社、東大史料編纂所、大阪市立美術館、石川県美術館、名古屋市豊清二公顕彰館。共催は静岡新聞社・SBS静岡放送。協力は静岡市、静岡市観光協会、静岡鉄道。尚、4月9日のオープニングに徳川義宣氏夫妻、大石静岡新聞社長、荻野静岡市長、俳優滝田栄氏等を招請した。

○特別展「徳川将軍家の名宝」

会期＝昭和59年1月1日～3月31日

重文徳川家康関係資料に武器武具をあわせ約100点を展示。

2. 刀剣類定期手入れ

昭和59年3月5日、池田猪太郎氏の手により館蔵刀剣類の定期点検、手入れが行われた。

3. 刀剣の調査

昭和58年12月14日～16日、文化庁美術工芸課文化財調査官広井雄一氏と(財)佐野美術館副館長渡辺妙子氏に依頼し、当館所蔵の刀剣の調査を行った。

4. 図録「徳川将軍家の名宝」の出版

昭和58年8月19日、館蔵の家康遺品・書画・染織・甲冑・刀剣の名品を解説した図録「徳川将軍家の名宝」を1000部出版した。

5. 文化財入門講座

○第18回文化財入門講座

期日＝昭和58年11月27日

内容「富士曼荼羅と木食仏」

講師 静岡県立美術博物館建設準備室学芸員 田中文雄氏・日比野秀男氏

6. サマースクール

○第3回サマースクール

期日＝昭和58年8月4日～5日

主催・会場 当館・(財)駿府博物館

内容「徳川家康と駿府の史跡」

7. SBSラジオ番組「井出孝の土曜はごきげん」への制作協力

昭和58年7月9日、松浦館長がSBSラジオ番組に出演し、東照宮の歴史・文化・教育等

を紹介した（社殿及び博物館で生放送）。

8. 友の会活動

○昭和58年11月27日、第18回文化財入門講座へ参加した。

館 外 業 務

1. 資料の出品

○「徳川家康展」

会期・昭和58年3月30日～4月5日

会場・静岡伊勢丹百貨店

東照大権現像、家康筆覚書・「鷲図」の3幅を出品。

○「徳川十五代将軍展」

会期・昭和58年4月29日～5月10日

会場・東京 小田急百貨店

写形齒染具足、星兜、糸巻太刀拵等13点を出品。

○「香道展」

会期・昭和58年5月14日～29日

会場・笠間稲荷美術館

重文蒔絵香具箱（小箱3合入）・伽羅を出品。

○「徳川十五代将軍展」

会期・昭和58年5月18日～23日

会場・小倉 玉屋百貨店

紅絲威具足、星兜、糸巻太刀拵等11点を出品。

○「駿府と徳川家康展」

会期・昭和58年6月4日～9月4日

会場・（財）駿府博物館

松平元康覚書、織田信長黒印状、大坂夏の陣図等13点を出品。

○「徳川家康キャンペーン」

会期・昭和58年6月7日～12日

会場・東京 三越銀座店

東照大権現像、徳川十六将図、和歌色紙「わが恋は云々」の3幅を出品。

○特別展「徳川家康公」

会期・昭和58年7月16日～8月31日

会場・日光東照宮宝物館

重文徳川家康関係資料（文机、書棚、団扇、藁笠、火縄銃、青磁薄茶碗、杖）、太刀国宗作、太刀国正作、茶杓、香箸を出品。

○「久能山東照宮秘蔵 徳川将軍家の名宝展」

会期・昭和58年7月24日～8月21日

会場・奈良県立美術館

重文齒染具足・金陀美具足・太刀 無銘 光世作、国宝太刀 銘 真恒、重文徳川家康関係資料等97件を出品。

○特別展「徳川家康と浜松」

会期・昭和58年7月26日～8月28日

会場・浜松市博物館

重文徳川家康関係資料（鉢、燭台、びいどろ壺、薬刀、団扇、耳盥、硯箱、蒔絵櫛）、太刀拵、甲冑 2 領を出品。

○「徳川家康展」

会期・昭和58年9月9日～12日

会場・静岡橋中学校

写真パネル 2 枚を出品。

○「大阪城 400 年の歴史展」

会期・昭和58年10月1日～11月23日

会場・大阪城天守閣

徳川慶喜像、太刀来国秀作、刀長吉作、筒袖陣羽織、軍帽、鞍下を出品。

○「戦国の覇者 徳川家康展」

会期・昭和58年10月6日～18日

会場・名古屋松坂屋本店

東照大権現像、織田信雄覚書を出品。

○「徳川家康展—その書と遺品—」

会期・昭和58年10月8日～11月6日

会場・徳川美術館

重文家康遺品 8 件、家康真蹟 6 点と金扇馬標を出品。

○「三英傑展」

会期・昭和58年10月8日～11月6日

会場・名古屋市豊清二公顕彰館

重文家康遺品 6 件、東照大権現像、徳川十六将図、織田信長黒印状、伝信長・秀吉・家康手判を出品。

○「戦国の覇者 徳川家康展」

会期・昭和58年10月22日～11月1日

会場・東京 松坂屋上野店。

東照大権現像、織田信雄覚書を出品。

○「徳川十五代将軍展」

会期・昭和58年10月23日～11月13日

会場・岡崎市三河武士のやかた家康館

徳川慶喜・家達像、菅公神号、福祿寿図、馬面、釣道具、甲冑 4 領、兜 2 頭を出品。

○「江戸の化粧道具展」

会期・昭和58年11月1日～12月11日

会場・町田市立博物館

重文手拭掛・耳盥・蒔絵櫛を出品。

○「徳川家康展—その書と遺品—」

会期・昭和58年11月12日～12月11日

会場・五島美術館

家康真蹟 6 点、重文家康遺品 7 件と金扇馬標を出品。

○「大航海時代のなかの日本展」

会期・昭和59年1月18日～4月15日

会場・国立歴史民俗博物館

紺糸素懸威具足（徳川家光所用）を出品。

2. 静岡県博物館協会総会

期日・昭和58年5月24日

会場・富士自然動物公園（サファリパーク）

昭和58年度総会が開催され、松浦館長、小林学芸主任、清水学芸員が出席。

3. 東海地区博物館連絡協議会総会

期日・昭和58年6月2日～3日

会場・犬山市レイクサイド入鹿

昭和58年度総会が開催され、松浦館長、小林学芸主任が出席。

4. 日本博物館協会総会

期日・昭和58年6月29日

会場・東京国立科学博物館

昭和58年度総会が開催され、松浦館長、清水学芸員が出席。

5. 全国博物館大会

期日・昭和58年10月13日～15日

会場・新潟市

第31回大会が開催され、松浦館長、清水学芸員が出席。

6. 静岡県文化財保存協会総会

期日・昭和58年6月24日

会場・静岡浅間神社

昭和58年度総会が開催され、松浦館長、小林学芸主任が出席。席上、松浦館長が会長に選出された。

7. 学芸職員研究集会

(a)期日・昭和59年1月18日

会場・静岡県庁西館

(b)期日・昭和59年3月28日

会場・(財)佐野美術館

静岡県博物館協会主催で開かれ、小林学芸主任、清水学芸員が出席。

8. 全日本博物館学会談話会

期日・昭和58年12月10日

会場・東海大学海洋科学博物館

内容「博物館に於けるレファレンスワークについて」

静岡県博物館協会共催で開かれ、松浦館長、小林学芸主任、清水学芸員が出席。

9. 静岡県博物館協会臨時役員会

期日・昭和58年9月13日

会場・(財)駿府博物館

松浦館長、小林学芸主任、清水学芸員が出席。

庶務報告

1. 昭和58年度入館者状況

2. その他

区分 月	大 人	小 人	団 体	ロープ ウェーと 共通	クーポン	無 料	計
4 月	12,016	2,212	3,182	3,330	1,036	627	22,403
5 月	15,765	2,769	6,304	2,798	857	563	29,056
6 月	8,393	452	1,989	0	1,347	119	12,300
7 月	7,733	1,084	1,400	0	696	149	11,062
8 月	11,582	4,683	1,241	1,252	1,038	300	20,096
9 月	6,146	427	1,414	488	551	103	9,129
10月	8,997	772	4,848	451	853	391	16,312
11月	8,472	739	3,782	608	605	354	14,560
12月	3,935	478	501	293	213	71	5,491
1 月	10,000	2,789	404	1,312	291	179	14,975
2 月	6,268	672	847	832	327	77	9,023
3 月	10,925	2,596	1,692	1,217	948	238	17,616
計	110,232	19,673	27,604	12,581	8,762	3,171	182,023

○ 4 月 1 日より入館料の大人料金を下記のごとく改正。

個人大人 300 円、共通大人 500 円、団体大人 250 円、団体共通大人 460 円

○ 4 月 23 日、松浦館長が徳川美術館講堂竣工式に出席。

○ 5 月 29 日、静岡市児童会館主催の親子歴史教室が当館 1 階会議室で開催。

○ 6 月 23 日～24 日、福島大学の栗原澄子氏が当館の染織品を調査。

○ 7 月 12 日及び 12 月 23 日、県所蔵の刀剣手入れ。

○ 8 月 8 日、徳川義宣氏出版記念会に小林学芸主任が出席。

○ 9 月 2 日、NHK 名古屋放送局制作部が重文洋時計と家康像を撮影。

○ 9 月 6 日、静岡ライオンズクラブ寄贈の防犯カメラ 3 台を展示室に設置。

○ 9 月 12 日、研究室に電話を設置。

○ 9 月 30 日、「サントリー美術館 100 選展」（於浜松市美術館）開会式に館長代理で小林学芸主任出席。

○ 10 月 7 日、「徳川家康展—その書と遺品—」（於徳川美術館）開会式に館長代理で小林学芸主任出席。

○ 10 月 13 日、東映教育映画部が重文洋時計等を撮影。

○ 10 月 18 日、駿府博物館の依頼で松浦館長が講演（演題「徳川家康公の人間像と宗教観」）。

○ 10 月 23 日、「徳川十五代將軍展」（於岡崎市）開会式に松浦館長、小林学芸主任が出席。

○ 11 月 9 日、滋賀県湖東町商工会婦人部の依頼で小林学芸主任が講演。

○ 12 月 23 日、静岡市広報課が資料撮影。

○ 1 月 24 日、防火訓練を実施。

○ 2 月 15 日、県文化課職員及び県文化財刀剣審査員 11 名が当館の刀剣を鑑賞。

○ 3 月 13 日、鈴木敬三博士の古稀祝賀会（於新高輪プリンスホテル）に松浦館長、小林学芸主任が出席。

○ 3 月 28 日、日本博物館協会の評議員会（於国立科学博物館）に松浦館長が出席。

○この期間に下記の人々が来館した。

佐橋晴男氏（NHK，4月4日），山本正氏（県立中央図書館資料課長，4月13日），宮崎隆旨氏（奈良県立美術館学芸課長，4月14日，5月16日～18日等），鶴田孝一氏（大塚巧藝社，4月16日，5月17日），佐久田昌一氏（前静岡県教育長，4月16日），福谷貞章氏（清涼院，4月18日），安本博氏（静岡市，4月18日，6月7日，3月10日），小沢誠一氏（4月28日），浅井忠氏（静岡大学，5月4日），駒ヶ嶺克樹氏（サファリパーク，5月7日），池谷正氏（静岡新聞社事業部，4月9日，5月18日，5月26日，2月25日），小木香氏（浜松市博物館学芸員，5月21日等），野田克巳氏（岡崎市観光課長，6月23日，11月15日），井出孝氏（井出コレクション代表，6月23日，7月9日），西村二郎氏（県立中央図書館長，6月24日），宇仁繁儀氏（日光東照宮，7月11日，9月3日），児島一郎氏（NHK演芸部，7月27日），内田九州男氏（大阪城天守閣学芸員，7月28日，9月25日，11月26日），山川静夫氏（NHKアナウンサー，8月13日），井上純二氏（楽事日報社編集局，8月22日），三橋健氏（國學院大學助教授，9月1日），西源二郎氏（東海大学海洋科学博物館，10月1日），山本泰一氏（徳川黎明会，10月3日，11月8日），神崎充晴氏（五島美術館学芸員，10月3日）。鈴木周作氏（中日新聞本社，10月3日，11月5日），奥出賢治氏（名古屋市博物館学芸員，10月6日，11月10日），村松慎一氏（岡崎市，10月17日），安本収氏（駿府博物館学芸員，10月18日），川松康人氏（町田市立博物館学芸員，10月24日，12月14日），馬の博物館職員17名（10月24日），山根明氏（上原仏教美術館，11月5日），長谷川昶氏（中日新聞本社，11月15日），上野実朗氏（静岡大学，11月10日），コーナー氏（ケンブリッジ大学，11月10日），辻達也氏（横浜市立大学，11月19日），堀沢光栄氏（富士美術館学芸員，12月7日），静岡市立東中学校41名（12月7日），薄井和男氏（神奈川県立博物館学芸員，12月11日），渡辺博氏（常葉美術館学芸員，12月11日），木下稔氏（徳川美術館普及課長，12月13日），名児耶明氏（五島美術館学芸員，12月13日），宇田川武久氏（国立歴史民俗博物館助教授，12月20日），山路進之助・石井誠両氏（学研美術出版部，2月16日），東海テレビ友の会50名（3月10日），小林宏氏（埼玉県立博物館普及主査，3月15日），西牟田崇生氏（國學院大學講師，3月17日），中野翠氏（鹿児島県歴史資料センター黎明館企画普及課主査，3月20日），田中千三氏（佐野美術館事務局長，3月26日），小野真一氏（加藤学園考古学研究所長，3月29日），伊藤文吉氏（北方文化博物館長，3月29日），朝比奈豪氏（静岡県文化課，3月30日）



徳川義宣氏夫妻らを招請した特別展「徳川家康をめぐる女性たち」開会式のテープカット

久能山東照宮博物館報

— 第 8 号 —

昭和59年4月30日 発行

編集発行 久能山東照宮博物館

〒422 静岡市根古屋390

TEL. 0542 (37) 2437